

「時代の流れを力に つながる下田 新しい未来」に向けて

日本地図を開くと、本州のちょうど真ん中あたりに伊豆半島が太平洋に突き出しており、そのほぼ先端に下田市が位置していることがわかります。

海運が盛んだった近世以降、みなとまち下田は海上交通の要衝として発展してきました。やがて、黒船来航により日本は世界に開かれることとなります。私たちのまちは、そんな歴史や経済の舞台でした。

それから170年が経過し、火星にロケットを飛ばす2021年の今はどうでしょうか。

全国の地方のまちと同様、下田市でも少子高齢化や人口減少が進み、さらに新型コロナウイルス感染症の影響で暮らしや経済は混乱の中にあります。

第5次下田市総合計画は、こうした厳しい社会的背景のもと、審議会、市民説明会やパブリック・コメントを経て、ようやくここに策定となりました。

さて、今般の計画のキーワード、それは「つながる」です。

人と人がつながる、行政と企業がつながる、下田と東京、さらにはアメリカやロシアとつながる、農林漁業と観光がつながる等々。異なるものがつながり、掛け算することで新たな価値を創造する。昔から東西交流の要衝だった下田市ならではの、古くて新しい手法です。

本市は令和3年に市制施行50周年の節目を迎えました。私たちは、今日の厳しい時代の曲がり角において、次の50年を見据え、しっかりと舵取りをしていかななくてはなりません。

「密」から「疎」への価値の転換といったポストコロナの時流を力に変え、普遍的価値として前計画から受け継いだ理念「市民一人ひとりが誇りをもって暮らすまち」を高く掲げて、新しい海に出ていく。そこには人口減少や新型コロナウイルスといった荒波もありますが、遠くに見える「新しい未来」を目指して、勇気をもって大海に乗り出していきます。

市民の皆様も互いにつながり、行政も企業もみんな一緒に力を合わせていただけますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、一方ならぬ御尽力を賜りました総合計画審議会委員や関係団体の皆様、市議会議員各位、そして市民の皆様に心からお礼申し上げます。

令和3年3月

下田市長



松本正一郎

下田市民憲章

(昭和45年12月21日告示第32号)

わたくしたちの住む下田は、開港の歴史に彩られ、近代日本にれい明をもたらした港と海と山に囲まれたいで湯のまちであります。

わたくしたち、下田市民は、この郷土に限りない愛情と誇りをもち、わがまちをより美しく住みよいまちとするために、ここに市民憲章を制定し、これを生活の信条として、更に自覚を深め、いましめ合って、よりよい市民となることを誓います。

- 1 下田の街は、我等の姿、美しい街をつくりましょう。
- 2 下田の港は、我等のふるさと、訪れる人を温かく迎えましょう。
- 3 郷土の歴史は、我等の誇り、住みよい街をつくりましょう。
- 4 はまゆうは、我等の香り、自然を大切に守りましょう。
- 5 太平洋は、我等の力、力いっぱいはげみましょう。

下田市平和都市宣言

(平成21年12月11日決議)

開港の歴史に彩られ、近代日本に黎明をもたらした港と海と山に囲まれた、いで湯のまち、下田。この素晴らしいまちで、平和で豊かな暮らしを次の世代に引き継ぐことが、私たち下田市民の願いである。

世界平和の実現は人類共通の願いであるが、今なおこの地球上では、戦争やテロリズムなどにより尊い人命が失われており、核兵器の拡散も懸念されている。

私たちは、このかけがえのない地球の平和と美しい自然を守るため、あらためて日本国憲法の掲げる恒久平和の理念のもと、核兵器など大量破壊兵器の廃絶と世界平和の実現に貢献することを表明し、下田市が平和都市であることを宣言する。

目次

序論 2

第1章 総合計画の策定にあたって	4
第2章 下田市の現状と動向	6
第3章 時代の潮流	16
第4章 本市の主要な課題	18

基本構想 20

第1章 まちづくりの基本理念	22
第2章 まちの将来像	23
第3章 計画の基本指標	25
第4章 土地利用構想	28
第5章 まちづくりの柱	32
第6章 第5次下田市総合計画の体系	33

前期基本計画 34

基本計画の見方	36
分野1 自然環境・生活環境	38
分野2 子育て・教育	48
分野3 観光・産業・雇用・移住促進	56
分野4 都市基盤整備	65
分野5 危機管理	70
分野6 健康・福祉	76
分野7 共生社会	85
分野8 行財政改革	89

資料編 96

「第5次下田市総合計画」の策定経過	97
下田市総合計画審議会への諮問	98
下田市総合計画審議会の答申	99
下田市総合計画審議会規則	101
下田市総合計画審議会委員名簿	103
下田市総合計画目標値一覧	104
用語集	108